

令和5年（2023年）度行政評価シート

令和5年6月23日

評価者	教育文化財部長 小林 昭嗣
-----	---------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(5) 生涯学習	施策の方針	4-(5)-①生涯学習環境の整備・充実
目標とするまちの姿	だれもが手軽に地域の学習資料を利用できる環境が整備されています。教育機関・企業などとの連携により、多様な学習プログラムが提供され、いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、世代を超えて市民同士がふれあうことができる生涯学習が推進されています。			
主な取組	<p>(1) 豊かな資源を生かした生涯学習の推進 市民のだれもが、いつでも手軽に学習できる環境を整えるため、生涯学習施設の管理・運営を充実させます。また、教育機関等・企業との連携により資料の収集及び保存方法を充実させ、市民の学習資料として提供することにより、質の高い生涯学習を推進していきます。</p> <p>(2) 多様な生涯学習機会の提供と周知 人生100年時代を迎える中で、多世代の多様な生涯学習のニーズに対応するため、市が主催する学習講座に加え、教育機関・企業や市民団体・地域団体における講座・イベント等を幅広く紹介し、市民の生涯学習参加の機会の充実を図るとともに、世代を超えて市民同士がふれあい、交流できる学習交流の機会を提供します。</p>			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

教育文化財部

- ・生涯学習センターの指定管理者制度の導入に取り組む。
- ・図書館サービス計画及び子ども読書活動推進計画の見直しを進める。
- ・中央図書館、地域図書館の運営のあり方について検討する。
- ・鎌倉の町並みの変遷をたどる写真記録集の制作に取り組む。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	284,993	272,419	406,736			
人件費	305,692	320,673	320,297			
総事業費	590,685	593,092	727,033	0	0	0

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	教育-10	社会教育運営事業		3,094	1,519	4,613	現状維持	A	現状維持
	教育-26	社会教育運営事業		70	760	830	現状維持	A	現状維持
	教育-47	社会教育運営事業		627	5,837	6,464	改善・変更	A	改善・変更
	教育-48	吉屋信子記念館管理運営事業		4,427	6,207	10,634	改善・変更	A	改善・変更

教育-49	生涯学習センター推進事業		2,453	11,009	13,462	改善・変更	A	改善・変更
教育-50	生涯学習センター管理運営事業		290,452	72,157	362,609	改善・変更	A	改善・変更
教育-51	市史編纂事業		64	4,119	4,183	拡充	A	拡充
教育-52	図書館管理運営事業		105,549	218,689	324,238	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

教育文化財部

- ・令和4年10月1日から、指定管理者制度を導入し、鎌倉CITYパートナーズが指定管理者となった。
- ・第4次鎌倉市図書館サービス計画及び第4次鎌倉市子ども読書推進計画の策定を行った。
- ・中央図書館及び地域図書館のあり方について検討を行ったが、結論を出すまでに至らなかった。
- ・鎌倉の町並みの変遷をたどる写真記録集「古都鎌倉へのまなざし」を発行した。

※実施できなかった事業とその理由

5. 成果指標

成果指標①		生涯学習に取り組んでいる市民の割合					出典		市民アンケート調査	
初期値	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	44	目標値	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	%	
		実績値	未実施	47.7	48.4					
		達成率	—	103.7%	103.0%					
成果指標②		市・生涯学習センター主催の生涯学習事業(講座・イベント)参加者の満足度					出典		令和4年度講座・イベントアンケート集計	
初期値	平成31年4月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
	90.2	目標値	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	%	
		実績値	未実施	79.0	85.0					
		達成率	—	87.5%	94.2%					

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

教育文化財部

・生涯学習センターについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、市民が安全で安心して利用できる環境作りを行い年間を通じて開館し多くの講座・イベントを開催する等、生涯学習を行う場の保障と生涯学習に触れる機会の創出につとめた。結果として、生涯学習に取り組んでいる市民の割合、市・生涯学習センター主催の生涯学習事業(講座・イベント)参加者の満足度の数値が、前年度よりも上がっている。

・中央図書館を安全に利用できるように、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、効果的な資料収集を図り、市民ニーズに即した貸出業務、インターネット予約などを実施し、市民等が手軽に学習資料を利用できる環境づくりに努めた。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

教育文化財部

・生涯学習センターについては、10月1日から生涯学習センター6施設の管理運営に指定管理者制度を導入したが、引き続き、生涯学習センター主催事業として、鎌倉市生涯学習推進委員会と協働して講座、イベントを開催することができた。参加者からは高い満足度を得ることができている。また、指定管理者が中心となって行った新たな生涯学習センター主催事業においては、若年層向けの企画もあり、利用者の促進や、今後の生涯学習に取り組む市民の割合の増も期待される。

・市史編纂事業は、歴史的公文書の選別を着実に実施することで、市の歴史を記録保存する市史編纂事業のための基礎資料の充実に寄与した。市議会令和5年2月定例会に市史編纂に関する陳情が提出され、採択されたことにより今後は拡充していく必要がある。

・図書館管理運営事業は、中央図書館の空調設備改修やブラインド修繕を実施することで安全で快適な生涯学習環境の整備に貢献するとともに、市民ニーズに即した資料提供を行い、市民等の利用環境の向上に寄与した。

8. 今後の方向性

教育文化財部

・現利用者の満足度を高めつつ、生涯学習センターでの現役・若年世代の利用の促進、夜間の稼働率の向上、ICTを活用した講座等の開設など、社会教育事業の質的向上と量的拡大を目指していく。

・中央図書館については、引き続き、利用者が安全、快適に利用できるよう環境の整備に努めるとともに、資料の収集及び保存方法を充実させ、市民の学習資料として提供していく。

9. 今年度(評価年度)の目標

教育文化財部

・指定管理者との密な連絡・調整を行う。

・中央図書館及び地域図書館の運営のあり方について、教育委員会の同意を得られるよう、熟度を高めていく。

・写真記録集「古都鎌倉へのまなざし」の幅広い販売と電子書籍の出版、紙書籍のふるさと寄附金返礼品登録を実施していく。

・鎌倉の明治期以降の所蔵記録写真アルバムのデジタル化及び整理保存を進める。

・関東大震災100年の節目にあたり、所蔵記録写真や文書を活用した展示を行う。